



平成 18年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成 17年 7月 21日

上場会社名 花王株式会社

(コード番号: 4452 東証第一部)

(URL <http://www.kao.co.jp>)

代表者 代表取締役 社長執行役員 尾崎 元規

問合せ先責任者 執行役員 会計財務部門統括 三田 慎一

TEL (03) 3660 - 7111

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有 (詳細は添付資料)
(内容) 退職給付引当金

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 連結(新規)2社(除外)1社、持分法(新規)11社
(詳細は添付資料)

2. 平成18年3月期第1四半期財務・業績の概況(平成17年4月1日～平成17年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)金額は百万円未満を切り捨て

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第1四半期	233,165	3.0	26,887	5.0	27,652	7.1	15,056	11.6
17年3月期第1四半期	226,311	6.5	28,304	3.3	29,752	4.3	17,034	12.3
(参考)17年3月期	936,851		121,379		125,345		72,180	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第1四半期	27.67	27.58
17年3月期第1四半期	31.12	30.20
(参考)17年3月期	131.16	129.09

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第1四半期	679,146	452,582	66.6	832.61
17年3月期第1四半期	690,703	425,048	61.5	772.70
(参考)17年3月期	688,973	448,249	65.1	821.47

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第1四半期	13,133	911	13,230	69,871
17年3月期第1四半期	6,264	10,992	29,834	71,584
(参考)17年3月期	109,567	54,407	90,657	70,409

【参考】

平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

中間期、通期とも、平成17年4月21日の平成17年3月期決算発表時の予想を変更してありません。(添付資料の3ページ参照)
なお、1株当たり予想当期純利益は、自己株式の取得、転換社債の転換等に伴い、年間期中平均株式数が増減することが予想されるため、補正しております。

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	480,000	61,000	36,000
通期	960,000	126,000	74,000

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期)135円93銭

上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

平成 18 年 3 月期 第 1 四半期経営成績及び財政状態の概況（連結）

経営成績

当第 1 四半期（平成 17 年 4 月 1 日から平成 17 年 6 月 30 日まで）は、世界経済が米国と中国に牽引されている中で、日本の景気も緩やかな回復傾向にあるものの、国内家庭用製品市場は伸び悩みました。このような中で当社は、国内の既存事業の強化と新規事業の育成、海外家庭用製品事業での販売体制強化などに取り組み、売上高は前年同期より 68 億円増加して 2,331 億円（前年同期比 + 3.0%）となりました。利益面では、付加価値の高い新製品の発売、工業用製品の拡売やコストダウン活動などに注力しましたが、原料価格上昇の影響を受け、営業利益は前年同期と比べて 14 億円減少して 268 億円、経常利益は 276 億円（対前年同期 21 億円）、当第 1 四半期の純利益は 150 億円（対前年同期 19 億円）となりました。

セグメント別の概況

【家庭用製品事業】

売上高は、前年同期に対して 1.4%増の 1,674 億円となりました。国内事業は新製品の上市などにより、18 億円の増収となりました。海外事業は欧米での積極的な事業展開により増収となりました。

国内

景気は緩やかな回復基調にあり、個人消費は持ち直し傾向にありますが、消費者物価は、落ち着いてきてはいるものの下落は止まらず、家庭用製品の世帯当たり購入指標は前年同期を若干下回りました。業態別では、ドラッグストアの伸長が続いています。こうした中で当社は、事業部門と販売部門が一体となったチェーンごと、エリアごとのマーケティング活動を引き続き積極的に進めた結果、売上高は前年同期を 1.5%上回り、1,292 億円となりました。

パーソナルケア製品では、ヘアケア製品のプレミアムブランド「アジエンス」に、新しいトリートメント製品を加えて売り上げを順調に伸ばしました。また「ビオレ^u」は、発売 2 年目のハンドソープが 2 桁成長し、全身洗淨料とあわせて売り上げを拡大しました。以上の結果、売上高は前年同期に対して 6.3%増の 460 億円となりました。

ハウスホールド製品では、衣料用洗剤の「液体アタック」を改良新発売しました。また洗濯仕上剤では「ワイドハイター シミすっきり泡スプレー」などを新発売しました。一方で既存品の販売価格は、緩やかながらも下落傾向が続いており、売上高は前年同期に対して 0.3%増の 547 億円となりました。

サニタリーほか製品では、売上高は前年同期に対して 3.5%減の 284 億円となりました。サニタリー製品では、生理用品で昨年 10 月新発売の「ロリエ エフ」が順調に推移し、またパンティライナー「ロリエ きれいスタイル」を新発売して市場を活性化し、売り上げを伸ばしました。ヘルスケア製品では、昨年大きく成長した「ヘルシア」が拡大期から安定成長期に入る一方、前年同期の販売チャネル拡大の影響もあり、売り上げは減少しました。

海外

アジアでは、事業の再構築に取り組んでいる中国で成果が現れ始めました。しかし、台湾やアセアン地域での激しい市場競争は続いており、「ビオレ」と「ロリエ」に集中した事業戦略で成長を図っているものの売り上げは伸び悩み、前年同期に対し 2.9%減の 131 億円となりました。欧米の売上高は、前年同期に対し 3.3%増の 266 億円となりました。スキンケア製品が全般的に好調で、特に「ビオレ」が伸長しました。ヘアケア製品では、ジョン・フリーダが新製品「ラディアント レッド」を発売し順調に推移しました。

【化粧品（ソフィーナ）事業】

国内化粧品市場は、全般的には依然ほぼ横ばいの傾向にあります。その中で当社は、「ソフィーナ」ブランドから、「大人の毛穴ケア」、「ベリーベリー 毛穴クリア パーフェクトムース」を新発売しました。メイクアップの「オーブ」も新色、新アイテムを追加し、活性化を図りました。またデパート専用ブランドの「エスト」では、プレステージ感を高める新しい店頭デザインを導入するとともに、新製品の「ホワイトニングエステ」による新客獲得を目指しました。以上の結果、売上高は前年同期に対して 0.7%増の 204 億円となりました。

【工業用製品事業】

工業用製品事業は、グローバル展開の充実に努め、売上高は前年同期に対して9.5%増の519億円となりました。

国内

景気の緩やかな回復傾向は続いていますが、原油をはじめとする素材原料価格の高騰の先行きは予断を許さない状況となっています。このような環境の中で、油脂事業は堅調に推移しました。機能材料事業では、樹脂関連の添加剤が引き続き好調に推移しました。スペシャルティケミカルズ事業では、トナー・トナーバインダーが大幅に売り上げを増加させ、またインクジェットプリンターインク用色材も伸長しました。以上の結果、売上高は前年同期に対して4.5%増の282億円となりました。

海外

アジアでは、油脂アルコールの拡売に努めた結果、昨年に続き売り上げを大幅に伸長させました。アセアン地域では界面活性剤も好調に推移しました。以上の結果、アジアの売上高は前年同期に対し14.6%増の126億円となりました。欧米では、トナー・トナーバインダーや界面活性剤が順調に推移し、売上高は前年同期に対して18.1%増の180億円となりました。

財政状態

総資産は6,791億円となり、前期末に比べ98億円の圧縮を図りました。税金や配当などの支払いの他、資本効率を高めるために、有価証券や投資有価証券を取り崩し、自己株式の取得を行いました。負債は前期末に比べ143億円減少し、2,189億円となりました。未払法人税等の減少、及び企業年金基金への拠出による退職給付引当金の減少が主なものです。株主資本は前期末に比べ43億円増加し、4,525億円となりました。主な増加は、当四半期純利益150億円であり、主な減少は、配当や自己株式の取得であります。以上の結果、株主資本比率は、前期末の65.1%から66.6%に上昇しました。

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、131億円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が272億円、減価償却費が136億円であったものの、法人税等の支払いが200億円、売上債権及びたな卸資産の増加が63億円であったことによるものであります。投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、生産能力増強や合理化投資などを積極的に行い114億円支出した一方で、投資有価証券の売却や償還などの結果、9億円となりました。財務活動に使用されたキャッシュ・フローは、配当金の支払いや、前期に引き続き自己株式を取得したことなどにより、132億円となりました。以上の結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ5億円減少し、698億円となりました。

通期の連結業績の見通し

当第1四半期連結業績は当初の計画を若干上回りました。今後も、国内家庭用製品市場での販売価格は下落傾向が緩やかながらも続き、また国内外での原料価格の上昇が見込まれますが、新製品の上市や、一層のコストダウンなどを行っていきます。従って、通期(平成17年4月1日から平成18年3月31日)の連結業績予想は、当初(平成17年3月期決算発表時)の計画通りです。なお、先日発表しましたモルトン・ブラウン社買収の影響は、現時点での見通しには反映させておりません。

要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期末 (平成17年6月30日現在)		前連結会計年度末 (平成17年3月31日現在)		増 減 (印減)	前第1四半期末 (平成16年6月30日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	金 額	構成比
(資産の部)		%		%			%
流動資産	292,155	43.0	289,180	42.0	2,974	279,883	40.5
現金及び預金	46,409		32,026		14,383	47,035	
受取手形及び売掛金	105,930		103,586		2,344	102,897	
有価証券	26,462		40,383		13,921	28,019	
たな卸資産	86,720		81,781		4,938	76,634	
その他	26,633		31,403		4,769	25,296	
固定資産	386,865	57.0	399,662	58.0	12,796	410,738	59.5
有形固定資産	259,719		260,223		504	258,658	
無形固定資産	82,708		86,222		3,513	94,863	
投資その他の資産	44,437		53,217		8,779	57,216	
繰延資産	125	0.0	130	0.0	5	81	0.0
資産合計	679,146	100.0	688,973	100.0	9,827	690,703	100.0
(負債の部)							
流動負債	200,044	29.5	211,541	30.7	11,497	199,942	29.0
支払手形及び買掛金	74,055		70,993		3,062	71,849	
短期借入金	19,660		18,604		1,056	20,074	
未払費用	63,450		63,233		216	62,208	
その他	42,877		58,709		15,832	45,809	
固定負債	18,877	2.8	21,768	3.1	2,891	43,853	6.3
社債及び長期借入金	1,437		1,426		10	14,481	
退職給付引当金	6,876		10,211		3,335	19,943	
その他	10,563		10,130		432	9,427	
負債合計	218,921	32.3	233,310	33.8	14,388	243,795	35.3
(少数株主持分)							
少数株主持分	7,641	1.1	7,413	1.1	228	21,859	3.2
(資本の部)							
資本金	85,424	12.6	85,424	12.4	-	85,424	12.4
資本剰余金	109,561	16.1	109,561	15.9	-	108,888	15.8
利益剰余金	305,026	44.9	299,345	43.5	5,680	328,320	47.5
その他有価証券評価差額金	3,367	0.5	3,533	0.5	165	4,090	0.6
為替換算調整勘定	37,262	5.5	39,765	5.8	2,503	40,987	6.0
自己株式	13,535	2.0	9,850	1.4	3,684	60,689	8.8
資本合計	452,582	66.6	448,249	65.1	4,333	425,048	61.5
負債、少数株主持分及び資本合計	679,146	100.0	688,973	100.0	9,827	690,703	100.0

(注) 増減は当第1四半期末と前連結会計年度末との比較で表示しております。

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第1四半期		前第1四半期		増 減	前連結会計年度	
	(自 平成17年4月1日 至 平成17年6月30日)		(自 平成16年4月1日 至 平成16年6月30日)		(印減)	(自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	金 額	百分比
		%		%			%
売 上 高	233,165	100.0	226,311	100.0	6,854	936,851	100.0
売 上 原 価	101,387	43.5	95,185	42.1	6,202	404,803	43.2
売 上 総 利 益	131,778	56.5	131,125	57.9	652	532,047	56.8
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	104,890	45.0	102,821	45.4	2,069	410,668	43.8
営 業 利 益	26,887	11.5	28,304	12.5	1,417	121,379	13.0
営 業 外 収 益	1,206	0.5	1,852	0.8	645	5,709	0.6
受取利息及び受取配当金	245		236		8	903	
持分法による投資利益	127		864		737	1,216	
為 替 差 益	156		52		103	591	
そ の 他	677		697		19	2,997	
営 業 外 費 用	441	0.1	403	0.2	37	1,743	0.2
支 払 利 息	231		252		21	933	
そ の 他	210		151		58	809	
経 常 利 益	27,652	11.9	29,752	13.1	2,100	125,345	13.4
特 別 利 益	210	0.1	680	0.3	470	1,613	0.2
特 別 損 失	588	0.3	684	0.3	95	7,305	0.8
税 金 等 調 整 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益	27,274	11.7	29,749	13.1	2,475	119,653	12.8
法 人 税 等	11,878	5.1	12,384	5.5	505	47,118	5.1
少 数 株 主 利 益 (減 算)	338	0.1	330	0.1	7	355	0.0
四 半 期 (当 期) 純 利 益	15,056	6.5	17,034	7.5	1,978	72,180	7.7

(注) 増減は当第1四半期と前第1四半期との比較で表示しております。

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当第 1 四半期	前第 1 四半期	前連結会計年度
		(自 平成17年 4月 1日 至 平成17年 6月30日)	(自 平成16年 4月 1日 至 平成16年 6月30日)	(自 平成16年 4月 1日 至 平成17年 3月31日)
		金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益		27,274	29,749	119,653
減価償却費		13,613	12,782	56,793
受取利息及び受取配当金		245	236	903
支払利息		231	252	933
売上債権の増減額(増加:)		1,728	6,761	5,922
たな卸資産の増減額(増加:)		4,644	5,467	9,781
仕入債務の増減額(減少:)		3,124	4,133	2,636
退職給付引当金の増減額(減少:)		3,384	3,121	13,009
その他の		2,364	5,953	745
小計		31,876	25,378	151,146
利息及び配当金の受取額		1,588	298	1,956
利息の支払額		248	242	912
法人税等の支払額		20,082	19,170	42,623
営業活動によるキャッシュ・フロー		13,133	6,264	109,567
投資活動によるキャッシュ・フロー				
有価証券・投資有価証券の取得による支出		6	7	12,025
有価証券・投資有価証券の償還及び売却による収入		10,967	501	10,863
有形固定資産の取得による支出		11,422	11,606	50,771
有形固定資産の売却による収入		719	654	2,434
無形固定資産の取得による支出		439	711	3,979
長期貸付による支出		228	296	1,131
その他の		500	473	201
投資活動によるキャッシュ・フロー		911	10,992	54,407
財務活動によるキャッシュ・フロー				
借入金の増減額(減少:)		1,013	2,941	308
自己株式の取得による支出		5,141	25,100	71,632
配当金の支払額		9,117	7,561	19,259
少数株主への配当金の支払額		-	277	1,332
その他の		15	163	1,258
財務活動によるキャッシュ・フロー		13,230	29,834	90,657
現金及び現金同等物に係る換算差額		558	1,005	1,246
現金及び現金同等物の増減額(減少:)		450	35,567	36,742
現金及び現金同等物の期首残高		70,409	107,151	107,151
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		760	-	0
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額		848	-	-
現金及び現金同等物の期末残高		69,871	71,584	70,409

(注) 重要な非資金取引の内容(百万円)

転換社債の転換に伴い自己株式を代用したことによる			
自己株式の減少額	1,625	33,477	53,476
自己株式処分差損(利益剰余金)	764	15,982	25,604
転換による転換社債減少額	860	17,494	27,871

四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用

当社は、中間連結財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続を採用しております。

退職給付引当金の計上基準……当社及び主要な連結子会社においては、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当第1四半期末において発生していると認められる額を計上しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動

- ・連結子会社 (新規) 2社：花王(中国)研究開発中心有限公司
Kao Brands Australia, Pty. Ltd.
(除外) 1社：ADM Kao LLC
- ・持分法適用会社 (新規) 11社：花王システム物流(株)、昭和興産(株)
ADM Kao LLC 他8社

販売実績

(単位：百万円)

事業区分	当第1四半期	前第1四半期	増減率	前連結会計年度
	(自平成17年4月1日 至平成17年6月30日)	(自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)		(自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)
家庭用製品			%	
パーソナルケア製品	46,060	43,330	6.3	180,616
ハウスホールド製品	54,764	54,622	0.3	234,250
サニタリーほか製品	28,407	29,425	3.5	122,079
日本計	129,231	127,377	1.5	536,947
アジア	13,186	13,576	2.9	53,508
欧米	26,632	25,783	3.3	106,735
内部売上消去等	1,615	1,658	-	7,183
計	167,435	165,078	1.4	690,006
化粧品(ソフィーナ)	20,468	20,331	0.7	78,294
工業用製品				
日本	28,234	27,016	4.5	111,475
アジア	12,687	11,068	14.6	47,231
欧米	18,043	15,275	18.1	64,035
内部売上消去等	6,992	5,901	-	25,753
計	51,972	47,458	9.5	196,989
合計	239,877	232,868	3.0	965,290
消去	6,711	6,557	-	28,439
連結売上高	233,165	226,311	3.0	936,851

事業の種類別セグメント情報

当第1四半期（自平成17年4月1日 至平成17年6月30日）

（単位：百万円）

	家庭用 製品事業	化粧品 (ソフィーナ) 事業	工業用 製品事業	計	消去 又全 は社	連 結
. 売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	167,435	20,468	45,261	233,165	-	233,165
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	6,711	6,711	(6,711)	-
計	167,435	20,468	51,972	239,877	(6,711)	233,165
. 営業利益	18,716	1,698	6,394	26,809	78	26,887
営業利益率 (%)	11.2	8.3	12.3	11.2	-	11.5

前第1四半期（自平成16年4月1日 至平成16年6月30日）

（単位：百万円）

	家庭用 製品事業	化粧品 (ソフィーナ) 事業	工業用 製品事業	計	消去 又全 は社	連 結
. 売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	165,078	20,331	40,901	226,311	-	226,311
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	6,557	6,557	(6,557)	-
計	165,078	20,331	47,458	232,868	(6,557)	226,311
. 営業利益	19,923	3,074	5,258	28,256	47	28,304
営業利益率 (%)	12.1	15.1	11.1	12.1	-	12.5

前連結会計年度（自平成16年4月1日 至平成17年3月31日）

（単位：百万円）

	家庭用 製品事業	化粧品 (ソフィーナ) 事業	工業用 製品事業	計	消去 又全 は社	連 結
. 売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	690,006	78,294	168,550	936,851	-	936,851
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	28,439	28,439	(28,439)	-
計	690,006	78,294	196,989	965,290	(28,439)	936,851
. 営業利益	92,597	7,693	20,663	120,954	425	121,379
営業利益率 (%)	13.4	9.8	10.5	12.5	-	13.0